

## 答 辞

はいささい。ぐすーよーちゅーうがなびら。

琉球大学大学院博士課程の修了を迎えるにあたり、修了生を代表してご挨拶を申し上げます。

本日は、新型のコロナウイルスで世間が大変な中、西田学長また諸先生方ならびにご来賓の皆様のご臨席を賜り、私たちの修了式をこのように開催していただきましたこと、ここに出席がかなわなかった修了生を含め、修了生一同に代わりまして、心より御礼申し上げます。

また、学位を拝領するにあたり、皆様方から心のこもったお祝いの言葉を頂きましたこと

も、重ねて御礼申し上げます。

本日をもちまして、私たち修了生は、本学大学院の全課程を修了致します。入学以来、私たちはそれぞれの研究科で、指導教員をはじめとする先生方の指導を仰ぎながら、同じ志を共有する仲間たちと切磋琢磨しながら研究に邁進しつつ、自分自身を成長させてきました。

私は日本の国費留学生として奨学金を頂きながら、琉球大学の人文社会科学研究科で勉強させて頂きました。

タイから沖縄に来たばかりの頃は、日本語も全くわからず、社会と隔絶されているような感覚がありました。が、沖縄でたくさんの人々のお力を借りながら、濃密な六年間を過ごした今は、自分がこの社会の一員になれたという意識を強く持っております。

研究では、私の出身地であるタイ南部の県と沖縄を比較し、研究致しました。両地域が共通して抱える社会的な問題の解決のために、タイから研究者らを招き、沖縄の研究者らと共に議論する機会を設けました。地域こそ異なれど、同じような問題を抱え、お互いが知恵を出し合いながら、問題解決のために力を合わせる事ができることを実感致しました。今日で博士課程は修了致しますが、今後も研究者として両地域の問題解決のために取り組んでいきたいと思っております。

このような貴重な成長の機会を下さった琉球大学の皆様方、日本社会の皆様方に心より深い感謝を申し上げます。

本日、学位を取得することができましたのは、多くの先生方の惜しみないご指導、ご鞭撻

の賜物です。また、共に学び、励ましあった友人、学習環境を整えて下さった大学職員の皆様に厚く御礼申し上げます。その他私たちの大学院生活にお力添えいただいたすべての方々、そして大学院生活を支えてくれた家族に深く感謝致します。

私たち修了生は、この春からそれぞれの新たな目標に向かって歩み始めます。本大学院で学んだことを糧とし、今後も様々な知識や技術を統合して地域社会・国際社会に貢献できる人材になれるよう努力していきます。

結びに、琉球大学の更なる発展と、本日ここにお集まりいただいた皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます、答辞とさせていただきます。

いっぺーにふえーでーびたん。

令和二年三月二十四日

修了生代表

人文社会科学研究所

タナパット・チャンディッタウオン